

再審開始決定の

元神戸市議会見

「気持ち晴れやかに」

神戸地検が2008年に摘発した風俗店経営会社の資産隠し事件で有罪が確定し、大阪高裁が裁判のやり直し（再審）を決めた上脇義生・元神戸市議（66）が15日、神戸市内で決定後初めて記者会見した。「世の中の空気が一変するぐらい、気持ち晴れやかになっ



会見する上脇義生・元神戸市議（左）と弁護人11
15日、神戸市中央区

た」と喜び、検察側の特別抗告により改めて判断する最高裁に期待を寄せた。

上脇元市議は事件当時、公明党の現職市議。地検の取り調べで「証拠は固めた。勝ち目はない」「（選挙で）党のダメージはきついだろうな」などと自分を迫られた結果、選挙で党に悪影響を与えてはいけなと考えて容疑を認める調書に署名をし、議員も辞職したと説明した。「有罪になって、すべてを失った。人生が大きく変わった」

市議になる前の約20年間、兵庫県警の警察官。「以前は取り調べる側。自分が取り調べられ、つらい思いをした」と振り返った。検察に対しては「脅しや誘導で調書に無理やりサインをさせるようなやり方は改めてもらいたい。絶大な権力を持つからこそ、その力を世のために慎重に使ってほしい」と求めた。（佐藤啓介）